

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.3

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

7月2日、オール沖縄の全員勝利めざす街頭演説会

あかみね政賢の議席は再び戦場にしない

一議席 平和外交こそ何よりも大事

来たるべき総選挙でのあかみね政賢衆議院議員の必勝とオール沖縄の全員勝利をめざす街頭演説会が7月2日、那覇市内で行われました。2区の新垣クニオ衆議院議員、3区のヤラともひろ前衆議院議員もそろいぶみ。党派を超えた県民の力を総結集し、沖縄から希望ある政治を実現しようと決意を固めました！



聴衆に手を振る各弁士

す街頭演説会が7月2日、那覇市内で行われました。2区の新垣クニオ衆議院議員、3区のヤラともひろ前衆議院議員もそろいぶみ。党派を超えた県民の力を総結集し、沖縄から希望ある政治を実現しようと決意を固めました！

比嘉京子社大党副委員長は「あかみねさんの議席は沖縄を再び戦場にしない1議席。私たちの手で守り抜こう」、糸数慶子元参院議員は「戦争への道を歩む岸田政権を止められるの

は私たち県民。あかみねさんに先頭に立つてもらおう」と訴え、玉城デニー知事も応援のメッセージを寄せました。

あかみね議員は、今度の総選挙で「沖縄の戦場化を絶対に許さない。あの戦争から学んだ平和外交こそ何よりも大事」という県民の意思を示すことを強調。辺野古新基地建設を絶対に許さず、保険証廃止・マイナンバーカード強要をやめさせようと訴えました。

日本共産党の山下芳生副委員長は「私たちはオール沖縄に学んで市民と野党の共闘にふみだした。オール沖縄の全員勝利で沖縄から希望を拓く選挙にしよう」と呼びかけました。

通常国会を終えて

衆議院議員 赤嶺 政賢

通常国会は6月21日で150日間の会期を閉じた。安保3文書に基づき、沖縄の軍事要塞化を強行する岸田大軍拡と徹底してたたかった国会だった。沖縄戦を体験した先人た

通常国会は6月21日で150日間の会期を閉じた。安保3文書に基づき、沖縄の軍事要塞化を強行する岸田大軍拡と徹底してたたかった国会だった。沖縄戦を体験した先人た

ちの「沖縄を再び戦場にさせない」「今こそ憲法9条を生かした平和外交を」の訴えが論戦の大きな力になった。

辺野古新基地建設を許さない島ぐるみの闘いが、56万の請願署名として広がったこと

も画期的だった。

自民、公明、維新、国民の4党は悪法を次々と強行したが、内閣支持率は下がり続けている。マイナンバーカード強要のための健康保険証の廃止に国民の怒りが沸騰している。通常国会で成立した悪法の実行を許さず、沖縄から希望ある政治を切り拓く闘いに全力を挙げたい。



慰霊の日が近づいたある日、孫が「月桃ゆれて、花咲けば」と口ずさんでいる。聞くと学校で歌っているという▼「最後の『ふるさとの夏』」は静かに歌うところなのに、みんな一斉に大きな声を出すんだよと訴える▼「月桃の花」を平和教育の一環として教えている学校は多い。90年代後半、沖縄戦を描いた映画「GAM A-1 月桃の花」がつけられた▼沖縄戦研究の成果の上に立った嶋津与志さんの脚本。摩文仁のガマの地獄がリアルに描かれていた。主題歌として採用されたのが海勢頭豊さん作詞・作曲の「月桃の花」▼いつか孫とこの映画を鑑賞し、一緒に口ずさみながら、曲と映画に込められた沖縄の人々の「不戦の誓い」の意味を考えてみたい。

戦後78年の「慰霊の日」 赤嶺議員に聞く

一人ひとりの命に向き合うこと

今年の慰霊の日はどうでしたか。

毎年、慰霊の日は平和祈念公園で式典に参加し、できる限り多くの慰霊碑に足を運ぶようにしています。今年も平和の礎、健児之塔、魂魄之塔、ひめゆりの塔、白梅之塔などをまわり、手を合わせてきました。健児之塔は、鉄血勤皇隊として戦場に駆り出された古堅実吉さんと一緒に来ていました。古堅さんが碑に刻銘され

た学友や恩師の名を手でなぞりながら「地獄の戦場を二度と繰り返させない」「憲法9条を守るからな」と呟く姿を隣で見えました。戦争体験者の高齢化がすすみ、そういった方々の寂しさがあります。

白梅之塔を訪れたときには、嬉しい出来事もありました。慰霊祭の継承に取り組む「若梅会」の方々が私を見て、「今年も来てくれたんですね」

と歓迎してくれました。

今年は戦没者の名前を読み上げる集いに参加したという声も多く聞きました。戦争で犠牲になった一人ひとりの命に向き合うことが、次の戦争を止める力になると感じています。



魂魄の塔で手を合わせる赤嶺議員ら

この間の行動

■辺野古浜テント座り込み7000日集会に参加(6月18日)



- 渡久地修県議と首里駅前朝の街頭宣伝(同19日)
- 沖縄等米軍基地問題議員懇談会に出席(同20日)
- 渡久地修県議と那覇市内で街頭宣伝(同22日)
- オール沖縄会議・緊急抗議集会に参加(同22日)



- 党マイナンバー問題追及委員会に出席(同27日、7月11日)
- マイナンバー問題で党那覇市議団と市から聞き取り(同13日)

あかみね政賢

市議・国会議員35年の実績・足跡(3)

外務委員会と沖縄・北方特別委員会での初質問

に抗議の申し入れ。

初質問は八月四日。外務委員会と沖縄・北方特別委員会。沖縄サミットを機に米軍基地問題の過酷さを世界のメディアが報道したにもかかわらず、日本政府が逆に沖縄の米軍基地の固定化・強化をクリントン大統領と合意した姿勢を追及。英国の記者が「沖縄はまるで米国の植民地」と感想を述べた報道記事を示すと、河野外務大臣は「沖縄県民に失礼」と発言。的はずれの外務大臣の答弁に対して、「沖縄県民の受けてきた屈辱の歴史に照らせば当然の報道」と指摘し、名護市にすすめようとしている新しい米軍基地の建設を中止するよう強く求めました。

米海兵隊による女子中学生わいせつ事件 外務省北米局長に抗議申し入れ

七月四日、初登院を前に緊張しているところへ、沖縄市での米海兵隊による女子中学生わいせつ事件のニュースがとびこんできました。「これが沖縄か」という怒りをこめて、早速小泉親司参議院議員とともに外務省北米局長

その後、沖縄関係の衆参議員八人の連名で、米軍、外務省、駐日大使館、中川官房長官に抗議の申し入れ。この行動のなかで、日本共産党の議席の値打ちをしつかり示す場面がありました。それは、ヘイルストン四軍調整官への抗議要請の時でした。ヘイルストン四軍調整官は、議員一人ひとりの発言をメモしていたのですが、私の発言になると、とたんにメモ量が多くなり、ノート二ページの半分以上にわたっていました。日本共産党の衆議院議員がどんな発言をするのか、全神経を集中して通訳の言葉をメモしているのです。超党派の議員といっても、そこに日本共産党の議員が加わっているから、米軍にとっても脅威になっているなど、強く感じたものです。この議席は、米軍の横暴にらみをきかし、安保廃棄、米軍基地撤去の闘いをすすめるうえで、決定的な意味をもっている、これにふさわしい頑張り、私が求められていると、誇りとともに、責任の重大さも自覚させられました。

『あかみね政賢国会だより』
第1号、2000・9・1